

110号  
2022年  
(令和4年)  
1月1日

# 高槻地区保護司会だより

〔事務局〕 高槻市社会福祉協議会内  
〒569-0065 高槻市城西町4番6号  
☎ (072) 674-7684

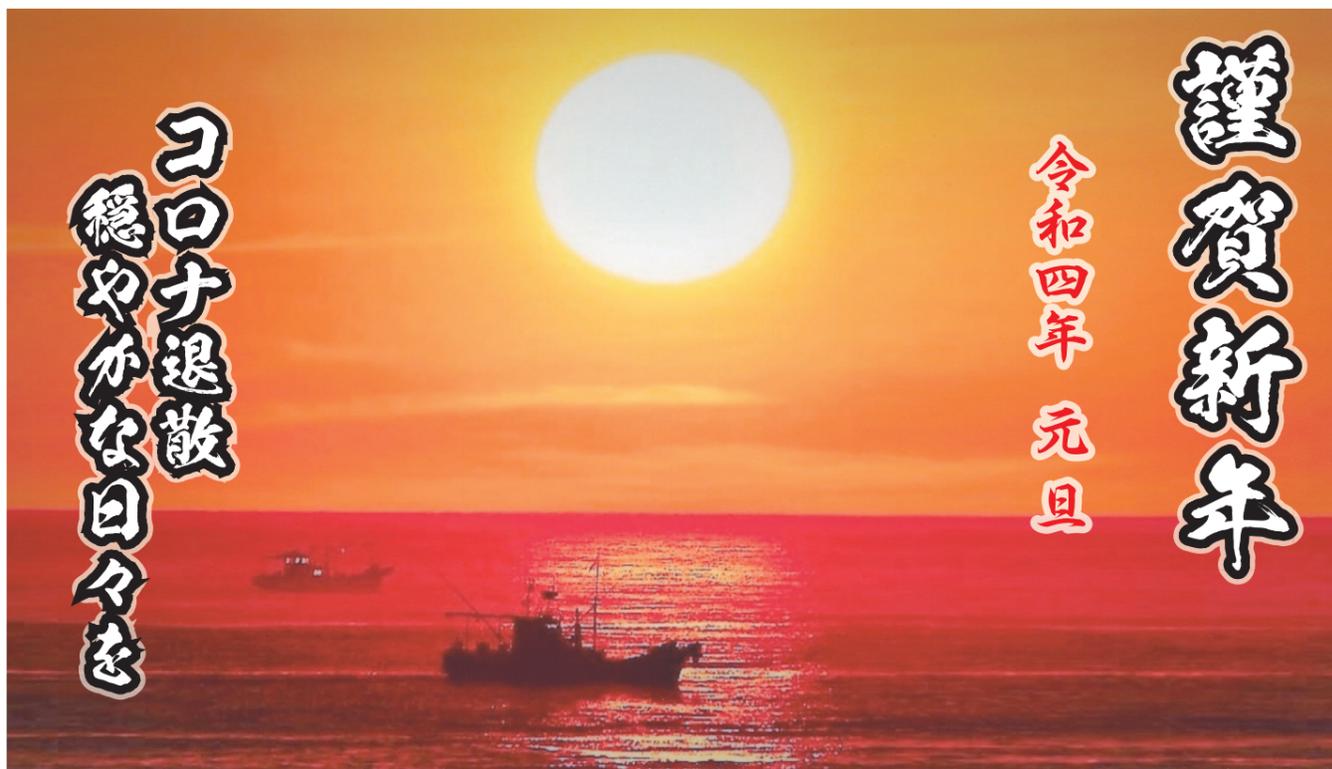
〔責任者〕 高槻地区保護司会  
会長 松本 大  
〔編集〕 広報部



人はみな  
生かされて  
生きてゆく  
更生保護ネットワーク

謹賀新年

令和四年元旦



## 新年のご挨拶

高槻地区保護司会  
会長 松本 大

新年明けましておめでとうございます。  
皆様にはお健やかに新春をお過ごしのこととお慶び  
申し上げます。  
平素は更生保護活動に何かとご尽力をいただき、厚  
く御礼申し上げます。  
昨年、一昨年は、新型コロナウイルス感染拡大防止  
に明け暮れました。“社会を明るくする運動”をはじ  
めとする主要行事は、見直しを余儀なくされました。  
予期せぬ孤独や社会的孤立などコロナ禍で浮かび上

がってきた「生きづらさ」という課題は、昨年の“社  
会を明るくする運動”のキーコンセプト「#生きづら  
さを、生きていく」につながるものであると思います。  
「生きづらさ」は犯罪・非行の背景や更生への道を想  
起させるものです。  
再犯防止推進法に地方公共団体が再犯防止施策の実  
施主体であることが明記されています。その為には、  
私達保護司がそれぞれの地域社会に連携することが必  
要です。  
そして、更生保護制度七十余年の歴史の一端を担う  
者としての責務を一層自覚し、「誰一人取り残さない  
社会」の実現を目指して、私たちは、この更生保護活  
動を継続発展させていかなければなりません。  
皆様には、変わらぬご支援をお願いするとともに、  
更生保護活動が益々充実発展することを願い、そして  
皆様のご健康とご多幸を祈り新年のご挨拶とさせてい  
たします。

【1面】	新年挨拶	会長 松本 大
【2面】	新年挨拶	高槻市長 濱田 剛史 島本町長 山田 紘平 大阪更生保護大会
【3面】	第三期定例研修会	厚生労働省から感謝状
【4面】	会員文芸欄	あとがき

## 私の保護観察日記

島本地区

谷田 敏 英

久しぶりに環境調整の依頼が入りました。保護観察終了後はいつも、「保護観察で二度と顔を会わせることがないように」と思っています。対象者は良好解除時、最後の面接に来訪しないうまま終了してしまい、気になっていたA君でした。

A君は中学二年の時に傷害・窃盗で少年鑑別所から保護観察処分となりました。中学生の間は、担任・生徒指導の先生と連携し、話題の共有を図り面接に生かされましたが、卒業後は特に面談の約束をしても来訪しなかつたり、連絡が取れなかつたり、連絡が取れないことが多く、保護観察期間中は、いかに来訪させるかに苦慮しました。自分に都合良く物事を考えて同じ

## 随筆

### 「サポセン駐在日記」

富田・阿武野地区

関 義 郎

一昨年の夏、サポートセンターで駐在をしていた時の事。見知らぬ青年が、ノックをして部屋に入ってきた。対座してアイスコーヒーを勧めると、立て続けに2杯飲み干した。話を聞くと「今、執行猶予中で、他県から仕事をしに来たが雇い主に会えなかった。来るまでにお金を使い果たし、もう飲み物を買うお金

もない。サポートセンターに来たのは、法務省のお金をもらうため」と、やや早口で話してくれた。とりあえず保護観察所に問い合わせると、「調べて折り返し電話をします」とのことだった。返事を待つことにした。

その間に、話をしていると、「見ず知らずの人からお金を借りたりもらったりするのは、絶対嫌でした」と何度も言っていた。金銭的に厳しい状況だからこそ、自分なりのプライドを持って乗り切ろうとして



ききよう俳壇

ききよう歌壇

秋晴や女学院より鐘の鳴る  
光さず橋杭岩の秋日和

松本 大

大学に四月にパスせし孫たちはオンラインのみで部活も出来ず

去年から膝を痛めて歩きにくくりック背負いスニーカー履き

名誉会員 澤田 浩子

世の中は暑いか寒いかどちらかです  
まに極楽常には地獄  
極楽は退屈すぎて地獄なり真の極楽  
地獄の出口

愚 狂 人

## あとがき

友人夫婦が退職後に能勢に移住し里山カフェ&ギャラリーをオープンしている。車で1時間半ほどかかったが、日常から抜け出し、無垢の木ぬくもり、畑でとれた野菜を取り入れた心のこもったランチ等々……。久しぶりに自然の中でゆっくり流れる時間を過ごし、非日常の中にある幸せを感じた。このままコロナが終息することを願ってやまない。(三)

緊急事態宣言解除の後、10月に保護司仲間のYさん、Tさんと磐手橋から太閤道の山道を、秋の日差しを浴びて歩きました。途中で高槻市外のすばらしい眺望を見て、シイヤカシの林を下り若山神社に到着。水無瀬の桜井史跡公園でゴールイン。乾杯のビールがうまかったこと。11月は樫田、12月は阿武山へ、参加者は若干増？(辻)

緊急事態宣言が解除されると、私の手帳も埋まりはじめた。近所の観光バスも10台ほど、ずーと動かず止まっていたが解除後、一台もなく、通るたびにみるがない状態だったが日々の生活を見直す機会ともなった。早く日常がもどることを願って、皆さん、一緒に頑張りましょう!!(片)



## 新年のご挨拶

高槻市長  
濱田 剛史

新年明けましておめでとうございます。

高槻地区保護司会の皆様方におかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より更生保護活動等を通じた犯罪や非行のない明るい社会づくりにご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて昨年は、長期化する新型コロナウイルス感染症の流行により、市民生活や社会全体が大きく変化し、市政運営にも影響が及んだ年でした。そうした中、本市ではワクチン接種事業をはじめとする感染対策と

もに、市民の生活支援や市内経済の活性化等の重点施策を迅速かつ着実に進めてまいりました。

また、コロナ禍にあつては、外出自粛による望まない孤独や孤立などによって、人々が「生きづらさ」を抱えることが憂慮されており、犯罪や非行をした人の抱える悩みや課題を受け止め、立ち直りに向けた更生保護等に取り組む貴会の活動は、益々重要となっております。

本市としましても、「第4次地域福祉計画」に新たに再犯防止推進の視点をもうけ、犯罪や非行をした人の「やり直せる社会」づくりに向け、貴会をはじめ関係団体の皆様と連携を図りながら、就労支援や居住支援など、それぞれが抱える課題に着目した社会復帰支援に取り組んでまいりますので、一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、高槻地区保護司会の益々のご発展と、皆様方のご健勝ご多幸を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

島本町長  
山田 紘平

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、新年をお健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

高槻地区保護司会の皆様におかれましては、日頃から犯罪予防活動や更生保護を通じた青少年の健全育成など、本町の安全・安心のまちづくりに格別のご貢献を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、皆様の活動にも大きな影響を及ぼしました。例年実施

している“社会を明るくする運動”におきましても、感染予防の観点から街頭啓発や地域集會を中止し、可能な範囲での啓発活動という形でご協力いただきましたことに、重ねてお礼を申し上げます。

さて、刑法犯の認知件数は、平成15年以降一貫して減少しており、犯罪情勢は改善の傾向が見られます。しかし、依然として特殊詐欺やサイバー犯罪の被害が高水準で推移しています。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に関連した給付金などをだまし取る詐欺などの犯罪も発生しております。

本町におきましても、引き続き、関係機関・団体の皆様と連携を深め、犯罪や非行のない明るい地域社会づくりを進めてまいりますので、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、高槻地区保護司会の今後ますますのご発展並びに皆様のご健勝をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

## 大阪更生保護大会

と き 令和3年10月28日(木)  
と ころ 大阪国際交流センター

今年の大会は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、参加者が制限され、高槻地区保護司会からは、松本大会長と梅木市三郎保護司の2名の参加となりました。梅木市三郎保護司が近畿地方更生保護委員会委員長表彰を代表授与されました。

なお、高槻地区保護司会関係で表彰または感謝状を授与された方は、次ページのとおりです。



## 第三期 定例研修会

と き 令和3年11月11日(木) 13:30 ~ 15:30  
と ころ 高槻市民会館南側2F大会議室  
テーマ 「事例検討(薬物事犯について)」  
講 師 大阪保護観察所  
主任保護観察官 西原 実氏

会場は約一年ぶりの再会に、笑顔の近況報告等にぎやかな交流の輪が広がりました。

研修は、『薬物の過剰摂取が薬物中毒であるが、それを引き起こす原因になるのは孤立である』という内容でした。マウスを一匹だけケージに入れ、薬物入りの水と普通の水を与えると、薬物入りの水を好んで飲み、中毒症状が出ます。一方、複数の雌・雄を広いケージに入れ、同様に2種類の水を与えると、普通の水を飲み薬物中毒のマウスは一匹もいません。この結果は孤立に耐えられないマウスが薬物に救いを求めていることを表しています。

社会に適応できず、孤独や孤立にさいなまれている



人が薬物に救いを求めるとそれが罪に問われます。そして、社会復帰の際にはより以上に排除され、孤独感、孤立感を深めていき、再度薬物に救いを求めることとなります。

性格や顔つきまで変えてしまい、精神に異常をきたしたりするのは、薬物だけではなく強烈な孤独感や孤立感も原因となっているということでした。

対象者と接するとき、説教するのではなく寄り添うことが大切だと改めて認識させられた研修でした。

## 薬物乱用 防止活動に感謝状

令和3年11月11日、高槻市民会館南側大会議室において開催されました高槻地区保護司会第三期定例研修会会場に、大阪府健康医療部より岡本智子総括主査、皆木香織技師が来訪され、高槻地区保護司会の長年の薬物乱用防止活動に対して、厚生労働省からの感謝状と萩焼の花入れが授与されました。



## 荣誉に輝く仲間 (敬称略)

表彰名	受賞者
全国保護司連盟理事長表彰 (功労保護司)	松田 功次 村尾 雅嘉
近畿地方更生保護委員会委員長表彰 (功労保護司)	池田 正興 岩城外志雄 岩本 育司
	梅木市三郎 至田 大助 當麻 円純
	藤岡 良造 吉村 光子
近畿地方保護司連盟会長表彰 (功労保護司)	池田 守 清野 学 関 義郎
	中井 宏 中原 武 峯森 好美
近畿地方保護司連盟会長感謝状 (家族功労)	西畑香葉子
大阪府知事感謝状 (功労保護司)	西畑 英明
大阪保護観察所長表彰 (永年保護司) (功労保護司)	烏野 正代 水眞 龍次
	福岡 章 本管 正嗣
大阪保護観察所長感謝状 (協力雇用主) (社明)	株式会社サン・グレイト 代表取締役 寺本計二
	株式会社寺内組 代表取締役 寺内正次郎
大阪府保護司会連合会会長表彰 (功労保護司)	相見 育子 濱崎 格
大阪府保護司会連合会会長感謝状 (家族功労)	坂田 和子